

自然を讃えた名画が岡山に集結。

ミレー、ルソー、モネら巨匠に加え、コローの油彩《霧の朝》を初公開
「自然賛歌 美しきバルビゾン派の世界」展、山田養蜂場ギャラリーにて開催



ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー 《霧の朝》

株式会社山田養蜂場（所在地：岡山県苫田郡鏡野町、代表：山田英生）は、所蔵コレクションの中から約500点を一般公開する特別展「自然賛歌 美しきバルビゾン派の世界」を、2025年10月3日（金）から山田養蜂場ギャラリーにて開催いたします。

本展は、ミレーやルソー、クールベ、モネ、ルノワールといった巨匠たちの名画を中心に約300点を紹介する恒例企画です。今年は、ジャン＝バティスト＝カミーユ・コローの油彩《霧の朝》を初公開するほか、19世紀フランス版画作品約200点も新たに公開し、バルビゾン派の魅力をより多角的に体感いただけます。

本展の見どころ

1. コロー《霧の朝》を初公開
2. バルビゾン派から印象派まで、フランス絵画の名作約300点を展示
3. 新たに19世紀フランス版画作品約200点を一挙公開
4. 完全予約制・各回60名限定でゆったり鑑賞

主な出品作品

- ・ ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー 《霧の朝》（初公開）
- ・ ジャン＝フランソワ・ミレー 《蜜蜂のいる風景》
- ・ クロード・モネ 《ヴェトゥイユのセヌ川支流、秋》
- ・ ギュスターヴ・クールベ 《ボート遊び（ポドスカーフに乗る女）》



ジャン＝フランソワ・ミレー
《蜜蜂のいる風景》



クロード・モネ
《ヴェトゥイユのセヌ川支流、秋》



ギュスターヴ・クールベ
《ボート遊び（ポドスカーフに乗る女）》

開催概要

- ・ 展覧会名：自然賛歌 美しきバルビゾン派の世界
- ・ 主催：株式会社山田養蜂場
- ・ 会期：2025年10月3日(金)～10月13日(月・祝)
2025年10月17日(金)～10月20日(月)
2025年10月31日(金)～11月9日(日)
- ・ 開館時間：10:00～12:00／14:00～16:00（各回2時間・完全入替制・定員60名）
- ・ 会場：山田養蜂場ギャラリー（岡山県苫田郡鏡野町市場194・本社敷地内）
- ・ アクセス：中国自動車道 院庄ICより車で約10分
JR津山駅から車で約25分（津山駅…岡山駅からJR津山線で約1時間10分）
※駐車場あり（案内看板あり）
- ・ 入場料（税込）：一般2,000円／中高大学生1,000円／小学生500円／未就学児無料
- ・ 予約方法：専用WEBフォーム（<https://reserva.be/yamadagallery>）より事前予約制
※ご予約やお問い合わせはWEBの専用予約フォームからお願いします。
※2025年9月1日（月）からご予約の受付を開始いたします。
※お電話でのお問い合わせや受付は対応できかねます。



【メディア向け特別内覧会】

開催前日の2025年10月2日（木）13:00～16:00に報道関係者をご招待いたします。時間内であれば自由にご来場いただけます。ご参加希望の方は、添付のFAX返信用紙にて事前申込をお願いいたします。

メディアお問い合わせ先

株式会社山田養蜂場 広報室

担当：谷野（ht2065@yamada-bee.com）、早瀬（ch0517@yamada-bee.com）

TEL：0868-54-1906 FAX：0868-54-3346

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194

山田養蜂場ギャラリーについて

山田養蜂場ギャラリーは、自然と人間の営みに根ざした芸術作品を通じて、文化の発信拠点となることを目指しています。とりわけ当社が収集してきたバルビゾン派の作品群は、企業理念「一人のひとのために」と響き合う存在です。

■バルビゾン派とは？一王家や貴族から庶民が中心の芸術に転換するきっかけをつくった画家たち

パリ近郊のフォンテーヌブローの森の入口、バルビゾン村に集い、そこで生きる人々と自然の風景を描いた画家たちを「バルビゾン派」と呼びます。ミレーやコロー、ルソーを代表とするバルビゾン派の創作活動は、従来の画家たちが神話や貴族などを理想的に描いていた西洋絵画に革新をもたらしました。「見たままを描く」という自由な絵画は、その後の印象派運動へとつながり、モネやルノワール、ゴッホなどの巨匠たちの誕生を促しました。

養蜂に深い関わりがあったと思われるミレーが描いたミツバチの舞う自然や農村風景は、山田養蜂場のある岡山・鏡野の原風景とも重なります。王や貴族のためではなく、庶民のために庶民の日常や労働をそのまま描いた絵画運動は、フランス革命に象徴される自由と民主主義の精神が芸術の世界へ広がる契機にもなりました。

この自然主義的・人間主義的なバルビゾン派の視点は、当社の理念「一人のひとのために」とも通じています。そのため当社は、バルビゾン派の絵画コレクションを中心に充実を図り、一般公開を通じて芸術文化の共有に努めています。



山田養蜂場ギャラリー 「自然賛歌 美しきバルビゾン派の世界」展

広報素材（作品画像一式）

本展の作品画像を、広報素材としてご提供いたします。申請用紙に必要事項をご記入のうえ、ご返信ください。

画像をメールで送信いたします。

画像をご掲載の際には、下記注意事項をご確認いただけますよう、お願いいたします。

<画像使用に関する注意>

- 本展覧会の広報を目的としてご申請いただいた記事・番組でのご使用に限りです。
- 展覧会名、会期、会場名、作品名、作家名、画像クレジットを必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなどの画像加工・改変はご遠慮ください。
- 本展覧会中であっても、再放送や転載をされる場合は個別に申請をお願いいたします。
- 基本情報、図版使用の確認のため、グラ刷り・原稿の段階で広報室までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載、放送後は必ず、掲載誌、同録データを、広報室へ1部お送り願います。

【株式会社山田養蜂場 広報室】

担当：谷野（ht2065@yamada-bee.com）、早瀬（ch0517@yamada-bee.com）

TEL：0868-54-1906 FAX：0868-54-3346 〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194



①ジャン＝バティスト＝カミュ・コロ＝「霧の朝」



②ジャン＝フランソワ・ミレー「蜜蜂のいる風景」



③クロード・モネ「ヴェトウイユのセヌ川支流、秋」



④ギュスターヴ・クールベ
《ボート遊び(ボドスカフに乗る女)》



⑤シャルル＝エミール・ジャック
《丘の上の羊飼いの少女と羊の群れ》



⑥ビエール＝オーギュスト・ルノワール
《ジャン・ルノワールと一緒にガブリエルと少女》



⑦ジャン＝フランソワ・ミレー
《種をまく人》



⑧カルル・ボドメール
《植物と鳥》



⑨ジャン＝フランソワ・ミレー
《落ち穂拾い》

山田養蜂場ギャラリー 「自然賛歌 美しきバルビゾン派の世界」展
 山田養蜂場 広報室（担当：谷野／早瀬）
 FAX：0868-54-3346 MAIL：gp-staff-051@yamada-bee.com

1) 2) に関してご希望の際は、貴媒体情報と希望内容をご記入いただき上記へご連絡をお願いいたします。

貴社名	
貴媒体名	
ご担当者名	
メール	@
ご連絡先	電話： FAX：

1) 10月2日（木）メディア向け特別内覧会参加希望

参加をご希望の際は、大変お手数ですが準備の都合上、以下にご記入の上、
 2025年9月30日（火）17：00迄に上記へご連絡をお願いいたします。

10月2日（木）の 来館予定時間	※10月2日（木）13:00～16:00の時間内であれば自由にご来場いただけます。
参加人数	

2) 広報素材希望

●画像掲載の際には、下記の作品キャプション・クレジット表記を掲載してください。

●広報画像（ご希望の画像にチェックを入れてください）

☐	①	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー《霧の朝》
☐	②	ジャン＝フランソワ・ミレー《蜜蜂のいる風景》
☐	③	クロード・モネ《ヴェトウイユのセーヌ川支流、秋》
☐	④	ギュスターヴ・クールベ《ボート遊び(ボドスカーフに乗る女)》
☐	⑤	シャルル＝エミール・ジャック《丘の上の羊飼いの少女と羊の群れ》
☐	⑥	ピエール＝オーギュスト・ルノワール《ジャン・ルノワールと一緒のガブリエルと少女》
☐	⑦	ジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》
☐	⑧	カルル・ボドメール《植物と鳥》
☐	⑨	ジャン＝フランソワ・ミレー《落ち穂拾い》

ご掲載いただける貴媒体についてお知らせください。

掲載日	
掲載媒体	